

市議会だより

令和3年 5月1日

No.65

令和3年3月議会号

うきは



松浦バラ園 (松浦 泰裕さん)
(表紙紹介 P12)

CONTENTS

- P 2 ~ 3 3月定例会
- P 4 ~ 7 予算特別委員会
- P 8 ~ 10 市政を問う! 一般質問
- P11 特集「地域おこし協力隊」
- P12 市民の声



3月議会定例会



3月議会（令和3年第1回定例会）
 会期 令和3年3月5日（金）～3月23日（火）
 19日間

【上程された議案】

- ◇議案・・・・・・・・・・22件
- ◇発議・意見・・・・・・・・2件
- ◇追加議案・・・・・・・・1件

主な議案

今回の3月議会定例会は、初日の市長の施政方針に始まり、新型コロナウイルス感染症対策第6弾を含む補正予算及び新年度予算等が提案されました。

1月13日に再発出された新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が2月28日に解除されましたが、引き続き3月21日まで不要不急の外出自粛や飲食店の営業時間短縮などが要請されたところですが、このような中、うきは市の新型コロナウイルス感染症対策の第6弾を含む補正予算に対し、各議員からは「市民生活

等の支援を拡充すべきではないか」という意見等が出されました。

また、新年度予算（一般会計及び簡易水道、下水道事業会計）は、予算特別委員会による集中審議を行い、全議案とも全会一致で可決しました。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う3月の主な補正予算（第6弾）

▼高齢者施設等新型コロナウイルス感染症対策支援金

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少している高齢者施設

等へ事業規模に応じ10～30万円助成するものです。
予算額・・・2020万円

▼市民生活支援給付金

新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮されている家計への支援で、生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付利用者に一律5万円を助成するものです。
予算額・・・600万円

▼学校教育活動継続支援事業

小中学校の「新しい生活様式」にそった学習環境を整備するため、感染症対策に必要な物品等を購入するものです。
予算額・・・880万円

▼未利用材活用型地域経済支援事業費補助金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている森林所有者を支援するため、未利用材を有効活用できるよう搬出助成を行い、林業及び地域経済の

活性化を図るものです。
 1t当たり2000円相当の商品券を支給
予算額・・・270万円

▼プレミアム付商品券

緊急事態宣言による消費の落ち込みを支え、市民生活支援・地域経済活性化を図るものです。
 販売額総額・・・
 3億5000万円
 プレミアム率・・・25%
予算額・・・5250万円

▼新型コロナウイルス対策中小企業等経営安定支援金

緊急支援金を支給した事業所に追加で一律5万円、新規事業者（前回未支給事業者）に15万円支給するものです。
予算額・・・4290万円

▼デジタルトランスフォーメーション促進補助金

テレワーク等の「新しい生活様式」にそった勤



自動制御付トラクター、ドローン

務体制の導入、生産性向上・DXを推進する企業等へ助成するものです。
補助額上限…100万円
予算額…1000万円

▼スマート農業推進化
事業費補助金

高性能機器（自動制御付トラクター、ドローン等）の購入費用を助成することにより、人との接触を抑え、生産性向上を推進するものです。
補助率…事業費の1/2
予算額…363万円

■3月の主な一般会計
補正予算

▼繰越明許費

新型コロナウイルス感染症の影響により多くの新型コロナウイルス感染症独自支援策をはじめ、屋形古墳関連施設整備事業や災害復旧事業など多くの事業を令和3年度へ繰り越しました。
繰越事業数…42事業
総事業費…8億7804万円



ワクチン接種シミュレーション風景

▼新型コロナウイルスワクチン接種会場設
営業務委託料

新型コロナウイルスワクチン接種会場設営のために委託するものです。
予算額…2133万円

▼農業機械・施設災害
復旧支援事業費補助金

令和2年7月の豪雨災害、9月の台風により被災した農業施設、機械等の修繕、再取得に係る費用の一部を支援するものです。
予算額…1195万円

▼県営農村総合事業費
負担金

田代ため池、一の瀬下ため池整備（県事業）に伴う市の負担金です。
予算額…419万円

◇その他、コロナ対策費をはじめ農地整備計画費、河川改良費や住宅建設費の減額補正を行いました。

▼専決処分の承認

新型コロナウイルスワクチン接種に伴う接種費

用及び接種体制確保事業の専決処分を承認しました。
予算額…1億7179万円

▼辺地にかかる総合整備計画の変更について

女子尾簡易給水施設井戸掘り替え工事の減額、新規事業として持木地区簡易給水施設井戸掘り替え工事及び送水管改修工事、小塩コミュニティセンター耐震改修事業の計画追加を可決しました。

▼耐震改修促進計画の策定について

市内の住宅や建築物等の耐震診断・耐震改修の促進計画（令和3年度から10年間、耐震率95%目標）について可決しました。

▼市道路線の認定について

宅地開発に伴う新設市道（全吉井町福益字下小柳）について可決しました。

■主な条例の改正

◇市道の構造の技術基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 歩行者が安心・快適に通行・滞留できる「歩行者利便増進道路（通称…ほこみち）」等の規定が追加され、改正しました。

◇その他

久留米広域市町村圏事務組合の「久留米広域ふるさと振興基金」廃止に伴い債権配分が行われることから、地域振興基金条例の一部を改正しました。

■請願・意見書・発議

【意見第1号】

◇核兵器禁止条約発効に伴う条約批准促進及び締結国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

議会として、当該意見書は妥当であると認め、国に対し意見書を提出しました。

令和3年度の一般会計は歳入歳出がそれぞれ158億7506万円となりました。これは令和2年度当初予算が骨格予算であったため、比較すると9.8%の大幅な増額となりました。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に対応した予算の流れでしたが、令和3年度も引き続きコロナ禍にある中で、感染症防止対策をはじめ地域経済の回復が望まれる予算となりました。

◆市税 (17.2%)

市民税、固定資産税、軽自動車税など、市民のみなさんが納められる税金

◆繰入金 (12.0%)

基金から、一般財源に繰り入れるお金

◆繰越金 (0.9%)

令和2年度から繰越しているお金

◆諸収入 (2.0%)

市の預金利子や貸付金元利収入、雑入など

◆寄附金 (2.7%)

ふるさと納税などの寄附金

◆分担金及び負担金 (1.7%)

いろいろな事業を行った際の地元負担金など

◆財産収入 (0.8%)

市の所有する資産等を売却して得たお金等

◆地方交付税 (29.4%)

行政の格差をなくすために、国から支給されるお金

◆国・県支出金 (22.0%)

補助事業を行った際の国や県からの補助金

◆市債 (6.4%)

市が借りるお金

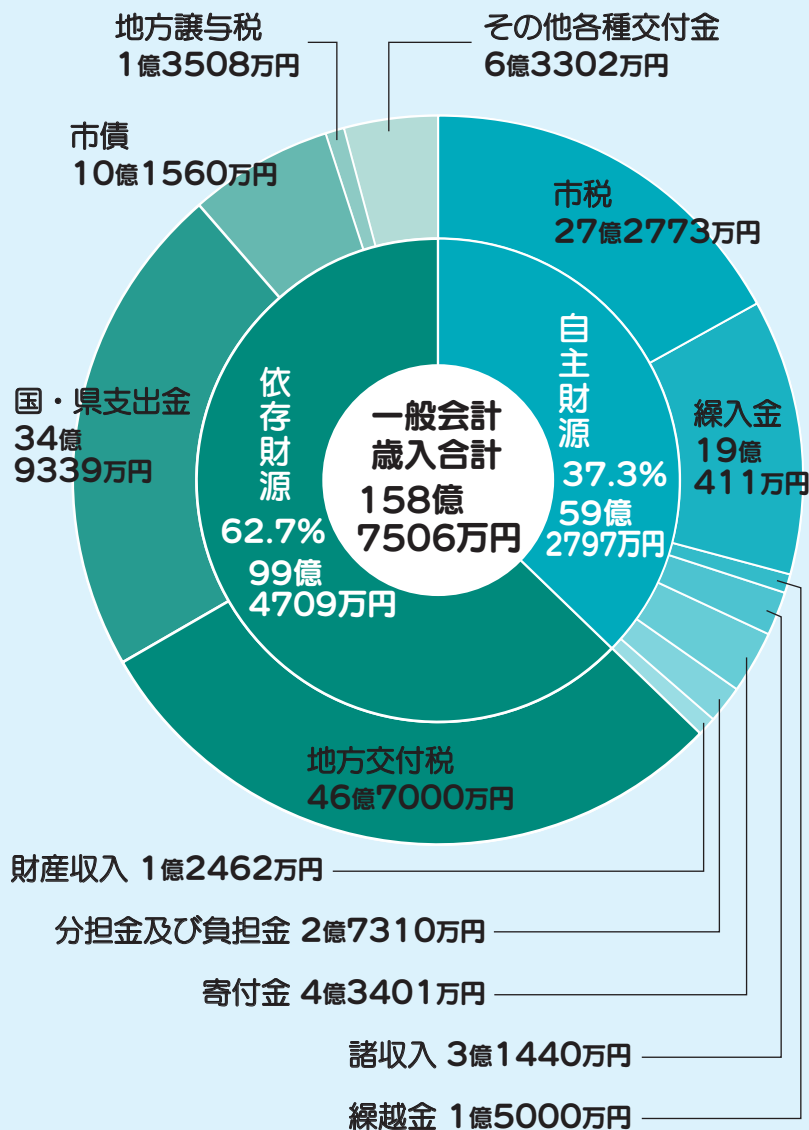
◆地方譲与税 (0.9%)

森林環境譲与税など

◆その他各種交付金 (4.0%)

地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金などの交付金

歳入予算



令和3年度 一般・特別会計 予算額

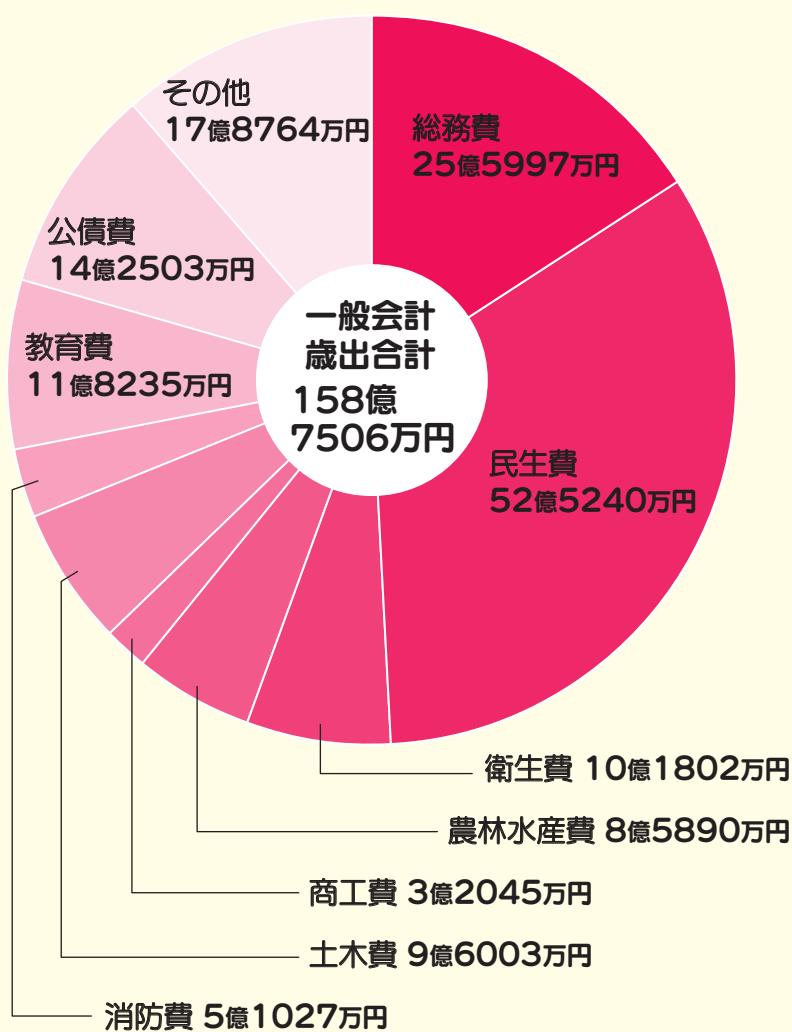
会計区分	一般会計	特別会計		
		国民健康保険	後期高齢者医療	自動車学校
予算額	158億7506万円	37億8361万円	5億644万円	1億3255万円
前年度対比 (増減額)	14億1620万円	△4523万円	1701万円	△887万円
増減率 (%)	9.8%	△1.2%	3.5%	△6.3%

※前年度3月は骨格予算のため、一般会計においては大幅な増となっています。

令和3年度 一般会計 新予算

158億7506万円

歳出予算



- ◆総務費 (16.1%)
職員給与、地域コミュニティ推進、地方創生推進、徴税、選挙などに使われるお金
- ◆民生費 (33.1%)
高齢者・障がい者福祉、児童福祉や保育所(園)、生活保護等に使われるお金
- ◆衛生費 (6.4%)
予防接種、総合健診、火葬場、ゴミ処理等に使われるお金
- ◆農林水産費 (5.4%)
農林業の振興、農地の整備、農林業担い手の育成、荒廃森林整備等に使われるお金
- ◆商工費 (2.0%)
商工業の振興、観光の振興、公園の維持管理等に使われるお金
- ◆土木費 (6.0%)
道路・河川・橋梁・市営住宅等の新設整備や維持管理等に使われるお金
- ◆消防費 (3.2%)
消防署、消防団の運営、施設の維持管理、災害対策等に使われるお金
- ◆教育費 (7.5%)
小・中学校やスポーツ施設等の維持管理、学校給食、教育の振興、文化財保護、図書館等に使われるお金
- ◆公債費 (9.0%)
市債として借りたお金の返済に使われるお金
- ◆その他 (11.3%)
議会費、災害復旧費、労働費、繰出金等

令和3年度 一般会計予算性質別内訳表

人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	投資的経費
24億4850万円	20億9680万円	1億9906万円	32億2770万円	17億8395万円	17億9224万円
積立金	繰出金	公債費	貸付金	予備費	合計
5億6652万円	22億8943万円	14億2814万円	74万円	4198万円	158億7506万円

～うきは市に元気と幸せを！



つながろう うきは～



令和3年度 当初予算の概要 「5本の柱」

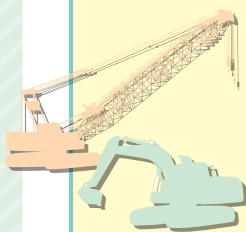
- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 「第2次うきは市総合計画後期基本計画」・「第2期ルネッサンス戦略」・「第2次うきは市教育大綱」のスタートを踏まえた人口減少対策と地域経済の活性化を図る地方創生推進事業
- ③ 令和2年災害復旧工事
- ④ 新高見団地建替工事
- ⑤ 吉井学童保育所建替工事



長迫橋



妙見橋



令和2年7月の豪雨災害で被災した杭迫線(妙見橋)、長迫・盗人馬場線(長迫橋)の2つの橋梁と3路線の市道の災害復旧事業等を行います。

令和2年7月 災害復旧工事



新型コロナウイルスワクチン接種

2月1日に、市民の安全を図るため市役所内に「うきは市新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を立ち上げ、一日も早い市民の皆様への接種を行います。



吉井学童保育所建替工事

現在の吉井学童保育所は、老朽化が著しく部屋が狭く密の状態です。今回の建て替えにより、定員51名から75名に増やし、学童保育所入所希望者の需要に対応していきます。



完成予想図



建設中の新高見団地

市営住宅新高見団地建替工事

老朽化した高見団地と兎渡島団地を解体した跡地に、鉄筋コンクリート造、5階建ての新高見団地(39部屋)が今年夏ごろに完成します。



Q ため池の問題で、農業用水の確保と防災・減災のための「ため池の保全条例」の検討はしたのか。

A ため池の整備については防災・減災を含め重要な問題と認識している。財政の裏づけを図りながら検討していきたい。

Q 学童保育について、学校施設の利用というのはできないのか。

A 学童保育については、今回吉井学童保育所の建替を計画している。学校施設の利用については、教室にパソコンを置くので利用できない。

Q コロナ禍における困窮者問題で、高校生や大学生等のいる家庭に対する支援ができないものか。

A ひとり親世帯で、所得の厳しい家庭に対してはすでに実施している。

Q うきは市の今回の予算を見ても、施策に特色がない。人口減少をくい止める施策についても、他の市町村と同じような事をしていても魅力がない。もっと思い切った施策を実施してもらいたい。

A 子育て少子化対策にかかる関係者協議の場を設けている。その中で若い人たち、女性に焦点をあてて、子育て世代の人たちが輝くまちづくりを協議し進めている。

Q アフターコロナを見据え、市の特徴を活かしたまちづくりを進めるとあるが、どういうことをするのか。

A 新型コロナウイルス感染症を乗り越えるには、国民の暮らしのあり方、すべての労働者の働き場のあり方が求められている。新たな生活習慣様式を求めていきたい。

Q 荒廃農地は年々増えている。中山間地等直接支払推進事業を担う組合が減少してきている。組合体制の支援をもっと行ってほしい。また、守るべき農地とそうでない農地との線引きを早急に明確化するべきと考える。

A 農業委員も推進委員も今回新たに任命された。こちらとしっかり協議しながら進めていきたい。

また、農業振興地域整備計画についても、しっかりと今後の農業振興のあり方について所管と協議しながら、進めていく。

Q 当初予算は総合計画の実現に向けて決めていくと思うが、それが弱いのではないか。また、中長期的な「財政計画」を作成すべきでないか。

A 予算については、総合計画とはちがう義務的財政予算もある。また、中長期的な財政計画をたてることは大変重要と思うが、中長期的な計画となると、その時々々の社会情勢の変動に大きく左右されることがある。今の現状では作成が難しい。

令和3年度予算 総括質疑



Q 地方創生推進事業費について、委託費が非常に多い。この委託内容についても、今必要な事業か、もっと他に子ども子育て世代や自然環境を活かした施策を考えた方が、人がうきは市に集まって来るのではないか。

A 民間委託化については総務省も推進している。良い仕事、良い成果を提供してもらうことで成果を上げている。また、地元発注についても年々増えている。今後も地元業者への委託等を考えて進めていきたい。

Q うきは市の基幹産業は農業である。その中でも、うきは市は「フルーツのまち」を売りにしている。しかしながら、もっと具体的な支援を考えていかないと、今後どのようにしていくのかが見えてこない。

A 今回のコロナ禍で農業が見直されている。「儲かる農業」と「小さな農業」をしっかりと見据えていく必要がある。

J Aにじと同じことをやるのではなく、しっかりと協議を重ねながら、取り組んでいきたい。

Q 歳入予算について、自主財源の伸びがない。また、財政力指数を0.5以上にするための財政計画は必要だと思いが、どう考えているのか。

A 現状は、コロナ禍の影響で税収が見込めない。また、地方交付税も国勢調査等による人口の減少で減らされる。その中で、財政力をつけるためには市としては、地域経済を活性化することで、税収等を増やしていくことが必要と考えている。

令和3年3月定例会 市政を問う!



コロナ禍における 新しい日常とは

感染防止に努め、新しい日常に沿った事業を進める (市長)



さとう たんよう
佐藤 湛陽議員

佐藤 新しい日常においての重点課題とは。

市長

① 新しい生活様式を踏まえ、
新たなまちづくり。

② 誰一人取り残さない持続可能な地域社会づくり。

③ 女性が輝くまちづくり。

④ 外貨を稼ぎ地域で循環させる仕組みづくり。

⑤ ソサエティ5.0に向けた社会実装の取り組み。

⑥ 人材育成、新たな学びへの挑戦。

佐藤 学童保育に対する考え方、取り組みを伺う。
市長

① 安全な場所です安心して過ごせること。

② 学年を超えて集団生活のルールが学べること。

③ 夏休み等、長期休暇で

も生活のリズムが乱れないこと。
子どもたちが同じ場所、同じメンバーで一緒に暮らすことで安心感のある生活を作れるよう環境整備に努め、学校や保護者、地域等と連携して子どもの育成支援を図ってまいります。

④ クラスの友達とは違うコミュニティが持てること。
生活を作れるよう環境整備に努め、学校や保護者、地域等と連携して子どもの育成支援を図ってまいります。

⑤ 学童の支援員、先生方との距離が近い。
取り組み方としては、



大石学童保育所

3歳未満児保育料の引き下げを



いわぶち かずあき
岩淵 和明議員

検討を行う必要がある(市長)

●●人口減少対策の施策

岩淵 第2次総合計画後期基本計画の具体化で、人口移動の原因を移動先との関係で分析し対策を講ずることが課題だと思

保育料は、3歳未満児の59%が入所し、41%が自宅保育されており、状況を注視し施策の検討を重ねていく。

●●新型コロナウイルス感染症防止策

岩淵 ワクチンの効果について認識を伺う。

市長 ワクチンの効果は

発症予防、重症化予防効果はあるが、感染予防は

市長 県の方が取り組んでおり、しっかりとない

市長 高年齢者雇用安定法で、今年4月から70歳

まで就業機会確保の努力義務が求められる。

うきは市無料職業紹介所を開設し、令和3年1月末16名と増加傾向にある。

次年度以降登録企業数を増やし、就業の場の掘り起こしと支援を行う。



保育環境の整備を

学童保育所の

整備計画はあるのか



たけなが しげみ
竹永 茂美議員

令和3年度に吉井学童保育所の

新築工事を予定(市長)

竹永 施設を作るとき保護者、支援員、運営側の意見を十分に聞くのか。

竹永 教育条件整備については努力している。

今慎重に行いながらもできるだけ速やかに行いたい。

市長 年々増加する入所希望児童受け入れのため、今後予定している施設整備に沿って定員を増員し受け入れ強化を図る。保護者からの要望等は可能な限り対応に努める。

竹永 年度末を控え退職や異動の先生がいる。タイムカード破棄について関係者の問責と当時の職員への謝罪と周知は。イムカードは破棄されたが、この2校の2018年度分はあるのか。

竹永 2019年度のイムカードは破棄されたが、この2校の2018年度分はあるのか。

竹永 支援員や運営側の要望を十分聞いて施設や人的配置を行うのか。

竹永 意見が踏まえる必要がないので当時の職員への謝罪や周知は検討し

竹永 2019年度のイムカードは破棄されたが、この2校の2018年度分はあるのか。

竹永 支援員や運営側の要望を十分聞いて施設や人的配置を行うのか。

竹永 意見が踏まえる必要がないので当時の職員への謝罪や周知は検討し

竹永 2019年度のイムカードは破棄されたが、この2校の2018年度分はあるのか。

福祉事務所長 支援員や運営側の要望は連絡協議会等があるので、可能な限り把握し対応を検討する。

竹永 PTA連合会や福

竹永 2019年度のイムカードは破棄されたが、この2校の2018年度分はあるのか。

竹永 PTA連合会や福

竹永 意見が踏まえる必要がないので当時の職員への謝罪や周知は検討し

竹永 2019年度のイムカードは破棄されたが、この2校の2018年度分はあるのか。

竹永 PTA連合会や福

竹永 意見が踏まえる必要がないので当時の職員への謝罪や周知は検討し

竹永 2019年度のイムカードは破棄されたが、この2校の2018年度分はあるのか。

教育長 人的配置による

教育長 人的配置による

教育長 人的配置による



増築した千年学童保育所(右側)

「SDGs」達成に向けての取り組みは



やりみず えいいち 鍾水 英一議員

次世代リーダーの養成を行うなど、取り組みを進めている（市長）

鍾水 持続可能な開発目標達成、将来に向け、既存基金の統廃合による新たな基金創設に取り組む意欲はあるか。

市長 新たな基金をという考えは持ち合わせていないが、基金の在り方と適正な起債の在り方というのを常に考えながら財政運営に努めていきたい。また、起債は確かに現象としては借金だが、認識は補助金と認めている。

●● 9月創設予定のデジタル庁について

鍾水 うきは市として今後のデジタル化に際した行政のサービス目標、情報発信の中で専門的な人材の配置を必要とするのは不可欠なことだと思

うきは市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう
14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう

さらに有識者を非常勤として取り組む。その他の質問
 ・うきは市国士強硬化地
 域計画について

で体制強化を図ることとしており、これらの人材を有効に活用しながら、利便性の向上と市民の皆様へのきめ細かなサービスを実現することを目標として取り組む。

子ども・子育て施策課題解決への取り組みは



さとう ひろのぶ 佐藤 裕宣議員

関係者協議の場で対応を図っている（市長）

佐藤 子育て支援アンケート調査から見えてくる優先課題とは。

市長 アンケート調査では、充実を図ってほしい支援項目として、公園等の子連れでも出かけやすく楽しめる場所が最も多く挙げられており、子どもの遊び場や交流の場の充実に向けた取り組みが必要だと考えている。

また、働く女性が増加し、仕事と子育ての両立の困難さや子育てに対する不安感、負担感が増大している。こうした育児に対する不安感、負担感を軽減するため様々な子育て支援サービスに関する情報提供、相談体制の充実に向けた取り組みの推進を図

る必要があると考えている。頂いている。

佐藤 課題解決に向けた具体的な取り組みは。

市長 公園に関しては、現在公園整備検討部会を設置し検討を進めている。情報提供、相談体制強化については、市内2か所に設置している地域子育て支援センターにおいて年間延べ4400人と多くの皆さんに利用して

佐藤 子ども医療費無料化等の経済的支援を求める声も多く挙がっている。

市長公室長 予算の限り

もあるのでなかなか全てが施策まで結びつくことには出来ないが、関係者協議の場で様々な子育て支援・少子化対策について検討していきたいと考えて



一人で悩まず相談を

地域おこし協力隊



「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、**地域外の人材**を受け入れ、地域協力活動を積極的に行ってもらい、その定住・定着を図ることで意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

うきは市では現在10名の隊員の皆さんに3年という任期の中で地場産品のPR、農林業への従事、住民支援などの様々な「地域協力活動」を行っていただいています。

今回**うきはフルーツ推進プランナー**として活動されている**矢野尚美さん**（3年目）にお話を伺いました。

Qうきは市の地域おこし協力隊に応募された動機を教えてください。

出身が大刀洗町で大阪の製菓専門学校を卒業後、料理関係の仕事で各地を転々としていましたが、子どもを3人育てながらというのは難しい面がありました。子育てしながらできる料理・食に関する仕事を探していた時にうきは市の地域おこし協力隊フルーツ推進プランナーの募集を知り、応募させていただきました。



うきぴーパフェ部部长と矢野副部长



Qフルーツ推進プランナーとしてどのような活動に従事されていますか？

パティシエの経験を活かして市内の店舗で、うきは市の季節ごとのフルーツを使ったパフェの商品開発をさせていただいたり、着任後立ち上げた「うきはパフェ部」では1年間で400人を超える方々にパフェづくりを体験してもらえました。他に婚活のイベントや、野外イベント・マルシェなどの中でもパフェ作りを企画するなど、ようやく地域での認知度も上がってきたかなと思っていました。

ところが今回のコロナ禍です。イベント中止や活動自粛のなか挑戦したのが、「オンライン日本一周の旅」という企画でした。全国の地域おこし協力隊員と連携し、参加してくれる方が家にいながら旅気分を味わえるように、協力隊が移住者の視点から見た各地の魅力や、その人たちの魅力をオンラインで伝えていくという取り組みです。結果的に28時間もの日本一周ツアーが実現し、参加者は240人を超え多くのメディアにも取り上げていただきました。



オンライン日本一周ツアーイベント当日の様子

Q着任3年目ということですが、今後についてはどうお考えですか？

着任後ほぼうきは市から出ていません。うきは市での暮らしの中ですべてが完結するというくらい仕事もプライベートもうきは市での生活は充実しています。うきは市から離れることは考えられません。できればこのまちで食に関わる仕事、例えば子どもが自分の頭で考えるチカラを育てられる、レシピもない手順もない自分で生きていくチカラが身につくような、子どもを対象とした料理教室等が開けたらと思っています。

取材を終えて・・・

とても明るく前向きな矢野さん、そんな彼女から取材を通して3人の子どもさんを育てる母親としての逞しさと優しさ、そして自分の天職ともいえる料理・食の仕事を通じ、これからも地域（うきは市）に貢献していきたいという思いが伝わってきました。地域おこし協力隊の皆さんが安心してうきは市に定住できるよう、行政としても今後更なる支援が必要ではないかと感じました。

特集 市民の声



田代 淳輝さん
(吉井町福永)

小学校のころから野球が好きで、今も地元の草野球チームで楽しんでいるバリの22才です。

Q::うきは市の印象は

(▽)好きなどころ・(▽)嫌いなところ)

A::▽緑や自然が豊かで空気がきれいです。

▽うきははアリーナやスポーツアイランドなど様々な運動やスポーツをできる環境があります。

▽人が良く、挨拶をすると快く挨拶を返してくれます。

▽若い人が遊べる場所が少なく、遠くへ行かないといけません。

▽Uber eatsが使えません。

Q::これからのうきは市に期待する事や、やってほしいことは

A::今、若い世代の人は都会に出ていく人が多くなって活気が下がってきていると思います。なので、もつとうきは市に住んでみたい！うきは市に住みたい！と思えるような環境を作って、活性化してくれたら良いなと思います。

Q::うきは市議会に対する要望は

A::まず、若い世代はそもそも市議会が何をやっているのか、どういうところが改善されたなどを知らないと思います。またインターネットで議事録などは見れますが、長く読みづらかったので簡潔にわかるような見たいかなるようなサイトを作ってもらいたいと思います。

表紙の紹介

「松浦バラ園」

松浦泰裕さん

(うきは市吉井町生葉)



実家は2代に渡りバラの生産をしており、小さい頃からその様子を見てきました。

大学在学中に家業を継ぐことを決意し、福岡花市場で2年間研修を受け、花業界や流通について学んだ後、3年前から実家に戻り3代目として父親の指導の元、バラの生産に励んでいます。

(今後の目標は)

昨年から流行している新型コロナウイルスの影響で、花業界は大きな打撃を受けました。バラの主な使用用途であるイベントやブライダルの中止や延期によって売り上げがかなり落ち込み、中には生産を減らす方もいました。

そんな中、昨年からJAにじの花部会の若手生産者数人で「フローリストにじ」という新たなグループを立ち上げ、販路拡大に向けて奮闘しています。これから若い力で地元から花業界を盛り上げて行こうと思っています。

編集後記

新学期が始まり、子どもたちが保護者や交通指導員などに見守られながら元気に通っています。新しい門出を祝う小・中人学式も今年は4月に来賓なしの短時間で終わりました。

コロナ禍の中で一年が過ぎた3月定例会に於いて、一般会計予算はコロナ禍による市税や地方交付税交付金減を財政調整基金などで補う大変厳しい財政事情でした。また、昨年の豪雨災害復旧工事や入札不調と工事未完了による繰越明許(翌年度に繰越すこと)が多くありました。

来月から新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が始まります。接種を受けるかどうかは個人の判断ですが、今のところ接種以外に有効な手立てはありません。「3密」を避けることを強くお願いします。

最後に、一日も早く子ども達の瞳が曇らない安心した日常生活が送れることを願っています。(竹永茂美)

傍聴しませんか

6月議会定例会は
6月11日(金曜日)
開催予定です。

◆一般質問は

6月14日(月)・15日(火)
の2日間行われる予定です。

◆インターネットのライブ配信と録画配信もおこなっています。



発行責任者

議長

広報広聴委員会

委員長 (副議長)

副委員長

委員

中野 義信

佐藤 裕宣

野鶴 修

伊藤 善一

鐘水 英一

竹永 茂美

組坂 公明

議会事務局

TEL 75 - 4990
FAX 75 - 3342